

キャリアアップに資する教育訓練 (整理用シート)		派遣業務内容		ソフトウェア開発				
		派遣業務の 具体的内容		派遣先（直近の現場：労働局（ハローワーク））におけるシステムのプログラム改修・テスト・障害対応の技術支援業務				
	入職時～1年目		2年目		3年目		4年目以降	
(1) 必要とされる共通の キャリアパス (求める人材要件)	プログラムソースから、現行システムの理解		現行システムのプログラムソースを理解するとともに、業務理解		業務理解を基に、現場にニーズに応えられるシステム構築が出来る技術者への成長		システム提案とシステム設計ができる	
(2) (1)に必要なスキル、 資質等	プログラム言語等の商用システムでの作り方		開発・改修業務システムのプログラム内容の理解		開発過程におけるコミュニケーション力を前提とした調整能力		ソフトウェアシステムとして具現化できる業務改善提案の策定・DX提案	
(3) 教育訓練内容 左：様式3号ー2 具体的な教育訓練 上：左の訓練内容の わかる事項 下：訓練計画時間	① 派遣法について	派遣法の基礎 指揮命令者の位置づけと 労使間協定の説明			法律を理解した上で業務をスムーズに遂行できる。 現場におけるエンドユーザと指揮命令者の位置づけを理解する。			
		4時間		時間	4時間		時間	
	② マナーについて	マナーとしての基本であるビジネスマナーを習得する。	現場の方に業務知識を教わる場合の、現場業務に支障が無い聞き方（聞く姿勢・タイミング・内容）					
		16時間		4時間		時間		時間
	③ システム開発言語研修	言語知識を基に、既存システムの商用プログラムのソースコードの書き方の習得	既存システムのプログラム単体の改善提案（プログラムソースの書き方、修正後のメンテナンス性を考慮した書き方）		エンドユーザヒアリングから業務を十分に理解でき、エンドユーザが求めているシステムをイメージできる		エンドユーザの発想を超える、システム提案ができ、エンドユーザにそのメリットを理解できる。	
		4時間		4時間		4時間		4時間
	④ フレッシュャーズ研修	現在の作業現場に限らず、本人のキャリアアップを意識すること。 また、雇用者との認識共有						
		4時間		時間		時間		時間
	⑤ リーダー育成研修				中堅社員として、本人のキャリアアップを自ら意識し、また上司・課員とも双方に共有する。			
		8時間		時間	8時間		4時間	
	⑥ マネジメント研修						派遣先の業務進捗と、派遣元社員としての労働力（労働時間）の調整能力	
		時間		時間	時間		8時間	
	⑦							
		時間		時間	時間		時間	
	⑧							
		時間		時間	時間		時間	
(4) 期待される教育訓練の 効果／到達すべき知識／ 技量レベル／キャリアアップ につながる理由	派遣社員の前に、一般的な社会人		システム技術者として、派遣先で認識してもらえる		自ら、あるべき技術労働者としての、将来をイメージでき、マイルストーンを設定しモチベーションを維持できる		自らを高みに行ける教育を企画・上申し、且つ部下を含む会社としてのスキルアップを目指す目標を持てる	